



# 50人の在住外国人に訊いた「函館の暮らし」

"Life in Hakodate" by asking to 50 foreigners

人口減少が深刻な問題となっている函館市だが、在住外国人の数は増え続けてきた。1980年には350人程度だったものが、2018年には1,100人を超えた。40年間で3倍にのぼる数だ。それ以降、コロナ禍の影響により多少の減少はあるものの今後も増加が予想されるという。国際化が叫ばれる中、24万の人口に対してこの数をどう見るかではあるが、北海道内を見渡せば、札幌市を除いた自治体の中で1番多い数ではある。

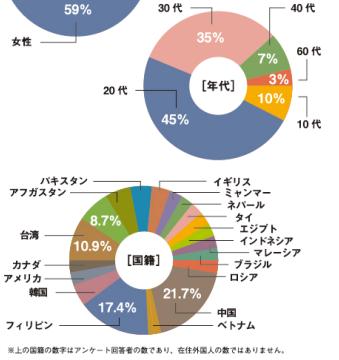
もちろん在住外国人が増えたのは函館に限ったことではなく、日本各地で外国人の人口は増加している。この要因となったのは、1993年に創設された「外国人技能実習制度」だ。これは「我が国で培われた技能・技術又是知識を開拓する上地等へ移転することによって、当該地域等の経済発展を担う人づくり」に寄与することを目的としているそうだ。



いそご立派な話だが、現実は深刻な労働力不足解消を目的としたものであり、現在の日本社会に外国人の労働力はなくてはならないものとなっている。

この制度がさまざまな問題を抱えていることは周のとおり。この4月、政府の有識者会議による提言もあり、ようやく外国人技能実習制度を廃止し、「人材確保」を主眼に新制度の創設を前段階とした議論が本格化始めた。

技能実習生に限らず、外国人にとって、そもそも文化や習慣が異なる地での生活は、日本人には想像できないようなストレスもあるはず。日本の生活文化と海のそれとは大きな違いがあり、とまどい外国人も多いと聞く。2022~2023年、HIF(北海道国際交流センター)は函館に基づき外国人を対象にアンケートを実施し、生活の中で感じたこと、問題点などができるだけ華麗に回答してもらった。この先、日本社会はますます外国人を受け入れていくことになるという声もある。彼らの意見を聞くことは、彼らの抱える問題の解決ばかりではなく、私たちにとって、函館という街を客観的に見つめる機会にもなり、早急に考えなければならないこの街の未来を考える手がかりとなるかも知れない。



\*上の総数の数字はアンケート回答者の数で、在住外国人の数ではありません。

## Q 函館で感じた文化や習慣の違いや街の印象は?

たとえば、「食べ物、天気、文化」(40代女性・東南アジア)やどこでも靴を脱いで履き替えたりすること。掃除をしてもらうのではなくすぐに片付けること。ゴミの分別。(50代女性・アフリカ)、「水道水が安全に飲めて、しかもおいしいことに驚いた」(40代女性・東南アジア)といった日本国内なら共通するであろう函館の他、函館に関する内容をあければ「景色が美しい」(20代男性・東アジア)、「街がきれい」(30代女性・東アジア)、「気候がいい」(20代男性・ヨーロッパ)、「他の地域も旅行して感じることは、函館は人口規模、整備された公共交通機関、運転のしやすさ、比較的雪が少ないなどの点から住みやすい街だと思う」(40代男性・東アジア)、「小さな街だが、ゆっくりゆったり暮らせる街だと感じた」(40代女性・東アジア)、「ゴミが少なく、清潔で整備されている」(20代女性・

ヨーロッパ)、「田園地帯と都市部があり、誰もが満足できる十分なユーティリティが備わっている」(20代女性・ヨーロッパ)、「静かで、治安がいい。優しい人が多い」(30代男性・アフリカ)、「人が親切でフレンドリー」(40代女性・東南アジア)、「物価が安い」(30代男性・東アジア)など、概ね肯定的な回答が多く寄せられたが一方、「エリアは非常に狭いので、それが苦手な人もいるかもしれない」(20代男性・東アジア)、「公共交通機関は距離に適応する場合があり、通常は自転車よりも時間かかる」(20代女性・ヨーロッパ)、「街には木が少ないので、冬になると歩道が走るのは難しい、交差点の信号が多すぎて、函館山は自動車通行可にすべき」(30代男性・アメリカ)、「冬になると食料品を買いて行くのが大変になります」(30代女性・東南アジア)。「例へば高齢者など日本人にも遭遇するのだが、冬の除雪の問題と、海外に比べ費用や時間でむかわる運転免許の取得が困難な外国人にとって、公共交通機関の不便さは深刻だ。移動手段として自転車を利用する外国人も多いらしい。」「街角の歩道が多い、道路で自転車に乗るのが難しい、交差点の信号が多すぎる」(30代男性・中央アジア)といった回答もあった。オランダやドイツのような自転車先進国では、迷惑・遅延に自転車を利用す場合も多々見ているという函館の特徴を考えると、自転車が利用しやすいインターフラッグの設備というのも一考する価値があるかも知れない。ただし、冬の移動手段はやはり問題だ。東南アジア出身で10年近く函館に暮らす女性・東アジア)という回答もあった。

国籍や年齢、また居住年数によって受け止め方が異なるのは当たり前だが、結じて「小さな街」(静かで落ち着いた雰囲気)環境が良いといった印象を持っている外国人は多いようだ。

函館で感じた文化や習慣の違いや街の印象は? たとえば、「食べ物、天気、文化」(40代女性・東南アジア)やどこでも靴を脱いで履き替えたりすること。掃除をしてもらうのではなくすぐに片付けること。ゴミの分別。(50代女性・アフリカ)、「水道水が安全に飲めて、しかもおいしいことに驚いた」(40代女性・東南アジア)といった日本国内なら共通するであろう函館の他、函館に関する内容をあければ「景色が美しい」(20代男性・東アジア)、「街がきれい」(30代女性・東アジア)、「気候がいい」(20代男性・ヨーロッパ)、「他の地域も旅行して感じることは、函館は人口規模、整備された公共交通機関、運転のしやすさ、比較的雪が少ないなどの点から住みやすい街だと思う」(40代男性・東アジア)、「小さな街だが、ゆっくりゆったり暮らせる街だと感じた」(40代女性・東アジア)、「ゴミが少なく、清潔で整備されている」(20代女性・

## Q

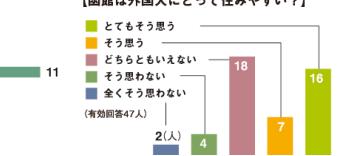
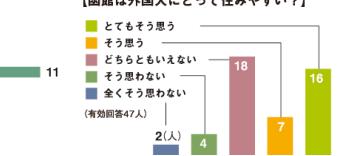
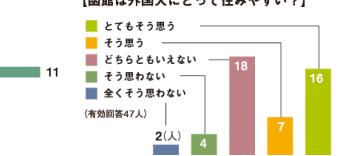
## 不満日々の生活で困ることはどういったこと?

ある女性は「初めの頃は、冬に雪を見るとなんだか心配な気持ちで立派な雪だるまを作り、雪遊びをするのが楽しかったが、今は慣れてしまって冬は外に出るのが億劫に感じる」と語る。

次に目についた回答は、「ショッピングモールがない」(30代女性・東南アジア)、「大きなショッピングセンターがない」(30代女性・東南アジア)、「買い物の不便」(30代女性・東南アジア)、「買い物のための配達サービスが少ない」(30代女性・東南アジア)といった買い物に関する問題だ。たとえば、高齢者の方は、冬になると雪の運搬が大変だ。移動手段として自転車を利用する外国人も多いらしい。「街角の歩道が多い、道路で自転車に乗るのが難しい、交差点の信号が多すぎる」(30代男性・中央アジア)といった回答もあった。オランダやドイツのような自転車先進国では、迷惑・遅延に自転車を利用す場合も多々見ているという函館の特徴を考えると、自転車が利用しやすいインターフラッグの設備というのも一考する価値があるかも知れない。ただし、冬の移動手段はやはり問題だ。東南アジア出身で10年近く函館に暮らす女性・東アジア)という回答もあった。

## Q

## 函館は外国人にとって住みやすい?



(有効回答47人)

● 東南アジア(11人)、ヨーロッパ(18人)、北米(6人)、オセアニア(4人)、南アジア(16人)、アフリカ(7人)、その他(2人)

● アジア系(24人)、ヨーロッパ系(11人)、北米系(6人)、オセアニア系(4人)、南アジア系(16人)、アフリカ系(7人)、その他(2人)

● その他(5人)

● その他(1人)



